令和2年度 第1回清瀬市子ども・子育て会議 会議録（要旨）

日時 令和2年7月30日（木）10:00

場所 児童センター

委員 11名（欠席1名）

事務局 子育て支援課長、健康推進課長、児童センター長他

1. 開会

事務局

事務局紹介（4/1付事務局職員の変更）

事務局より就任あいさつ。

子ども・子育て会議の委員の定足数を満たしている旨報告。

2. 議題

委員長

委員長として議事をさせていただきます。市長からの諮問案件として清瀬市子ども・子育て支援総合計画の評価の議題に入ります。

事務局

清瀬市子ども・子育て支援総合計画の評価について（資料1）の説明。

教育・保育の確保、地域子ども・子育て支援事業の確保について説明。

委員長

全体の説明だったので、十分聞き取れなかったところもあると存じますので、そういうところは質問いただきたいと思います。

委員

資料1 P4、5の保育園に関わる場所ですが、1・2歳の待機児童が多いという状況で前年度よりは減ったということではありますが、育児休業を長くとる方もいると思うので、1・2歳の受け入れは多くならないのでしょうか。

事務局

令和3年度で乳児保育園は廃園するので、令和4年度から社会福祉法人どろんこ会が松山地域に新規の保育園を開設予定です。乳児保育園の定員は34名ですが、新規の保育園は定員を42名としているところです。

また平成31年4月1日は28人、令和2年4月1日の待機児童数の状況は19人と
なっております。状況を見ながら対応していきたいと考えております。

委員長

他の委員でご質問がある方はお願いします。

委員

資料1 P6の地域子ども・子育て支援事業の確保ですが、利用者支援では相談件数
を載せていますが、地域子育て支援拠点事業でも相談を行っていると思いますが、相
談件数は載せたほうが良いと思います。

事務局

検討してまいりたいと思います。

委員

新型コロナウイルス感染症が流行していますが、乳児の全戸訪問は実施していますか。

事務局

全戸訪問はなかなかできていないです。

委員

P7子育て短期支援事業ですが、日によって利用したかったけれどもできなかった時
の人数はどのようになっていますか。

事務局

利用できなかった方の細かい実績は出していないです。

委員

調整も含めてどのように工夫しているのか書き込んだうえで評価も出てくると思う
ので、数値だけでなくそういうところももう少し入れていただきたいです。

委員長

補足して説明しますが、日本社会事業大学で、子ども生活実態調査を行った中で見え
てきたのは、子どもたちのニーズと規格化されたサービス提供のマッチングが難しい。
今年度の子ども・子育て支援総合計画の中で子どもの貧困対策を位置付けてショート

ステイ及び新設のトワイライトステイ等新規の計画を立ち上げている。今年度の計画の中で検証していきます。

委員

ショートステイは1歳半からですか。

事務局

1歳半からです。

委員

ファミリー・サポート・センター事業のマッチングについてですが、マッチングできないことは清瀬の場合ほとんどなくて、障害を持っている人の場合の送迎ですが、公共の交通機関か徒歩かタクシーなので、見つけるのに時間がかかります。

委員

保育園の待機児童数で、0歳児でかなりの園で定数を下回っていますが、育休を延長したいという家庭も増えていますが、本当に入りたいのかどうかどの程度まで把握していますか。

事務局

4月1日現在の待機児童につきましては、平成31年4月1日の待機児童になっております。定義につきましては新定義になっております。

聞き取りにつきましては、申し込みの際に口頭で確認しています。

事務局

育休延長につきましては、待機児童にならなければいけないという課題があります。受かってしまった後にキャンセルする事例がありましたので、申請書に育休を希望するかどうかの確認欄を設けて対応をしています。

委員長

出来高的な定員管理に問題がありまして、定員に対しての定額の支弁という制度設計がどうしても必要なところなので、これに対しては都や国に対して要望をあげていきたいと委員会でも確認したいです。

委員

去年から話題にでていますが、病児・病後児保育の利用はできていますか。会議後アクションがあったか教えていただきたいです。

委員長

コロナの対策を考えると、従来であればインフルエンザなどの感染症対策の中で、利用が制限されていたが、次元が変わってしまい、コロナ対策でもっと重厚な設備が必要になります。

補正予算などで対応になると思いますがどのようになっていますか。

事務局

国の第2次補正予算で各保育園、幼稚園、学童クラブ、各保育関連施設、1施設50万円、あわせて100万円の予算がつきまして、対応しています。

委員長

全ての子育て支援事業者に対して国からの予算を活用していただき感染症対策にあたっていただきたいです。

委員

病児・病後児保育ですが、病児保育室が病院内に戻る計画をしているということで、いつから戻りますか。

事務局

すでに病院内には移転は済んでいます。

委員

病後児の件ですが、1施設でコロナ対応をしたらなかなか難しいので、行政の支援もお願いしたいです。

委員長

第2波が来ている中で、しっかりした対応が必要になってきます。

保育園の中でクラスターが発生してしまうと皆様の労働の問題に直結して貧困の問題にも直結します。

国の体制も不明確の中で、どうしていくのかは重要な課題なので、この委員会での提言として取り上げていきたいです。

委員

病児・病後児保育の訪問型はコロナで行っていますか。

委員

訪問事業は安全チェックリストをつくっていて、健康チェック表を渡しています。
病状がはっきりした時点で受け入れは行っています。

委員

コロナの問題は今後も続くと思うので、今後の対応を想定しておかないと、今後の課題としてどうするのか予測をして対応しておかないと。

委員長

いったん昨年度事業の評価事項の評価の承認を確認させていただきたいです。

委員

学童の待機児童を教えてください。また、学童の待機児童対策の中で、この先増設はしないのですか。

事務局

待機児童は、1年生5名、2年生12名、3年生20名、4年生38名、5年生4名、6年生が0名と合計79名です。

事務局

定員拡大について今後のお話をさせていただきます。
東京都の事業でコミュニティ施設を建てる予定でいます。その2階部分を使用させていただきたいと考えております。移転に伴い定員の拡大を考えていて、夏休み前までに移転をしたいと調整しています。

委員長

昨年度事業に対しての評価についてご承認いただけますでしょうか。
この議案は承認されました。
その他事項ですが、市長から諮問されている案件ではないですが、子ども・子育て会議として議論しておきたい事項があるわけですが事務局から何かありますか。

事務局

学童クラブの委託について指定管理者制度の導入をお話させていただきます。
市内9校の学校に対しまして、10施設の学童クラブを設置しております。すべて直営で行っているが、来年の4月から3か年かけて順次指定管理者制度の導入を予定しております。

平成30年度に実施したニーズ量調査の中に利用時間の延長や、定員の拡大について要望がありました。利用時間の延長、定員の拡大、見守りの継続、指導員の待遇改善が多い内容となっている。

指定管理の導入により利用時間の延長を考えております。

市内でも駅前乳児保育園、子どもの発達支援・交流センターとことこ、清瀬けやきホール、コミュニティプラザひまわりなどが指定管理者制度を導入しております。

令和3年は3施設、令和4年は4施設、令和5年は3施設を予定しております。

開所時間は通常時は午後7時までとなります。土曜日は午前8時から午後7時までになります。

延長料金の対象は午前6時から午前7時までを対象としております。午前8時から8時30分につきましては無料とさせていただきます。

延長料金につきましては、公立保育園と同様に月額2,500円、日額500円を予定しております。

募集に関しましては広く事業者から応募をいただいております。

選ぶ方法については、入札方式ではなく、公募型プロポーザルによる審査による方法を予定しています。

デメリットとして経費削減ということが言われておりますが、決して金額が低だけで選ぶことはありません。選定委員は理事者のほか有識者がメンバーとなっております。

これまでのスケジュールですが、3月の市議会において条例改正を行っていて、6月に募集を開始しました。9月下旬に選定委員会を設置し、10月には業者が仮決定します。

12月議会での議決を予定しております。

保護者説明会は7月と8月にそれぞれの施設で開催し、事業者決定後に事業者と一緒に11月にそれぞれの施設で開催予定です。

委員長

ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問をお願いします。

委員

私は、私立の幼稚園と保育園を設立して40年たっているが、子どもの安全な保育を

していければと考えている。同じ施設の中で0歳から6歳までいるということは安全管理上すごく怖いということはありません。

今回、民間委託にしていくということですが、委託先は1か所1事業者なのか、3か所を同時にその会社に委託することになるのですか。

事務局

指定管理の契約年数に関しては5年間です。事業者数ですが、令和3年4月に予定している3か所は1事業者を予定しております。10施設全体で2から3事業者を予定しております。

委員長

今年度募集を出したのは、1事業者が3施設を運営するという内容になっています。令和4年度以降は1事業者が4施設を運営するというしぼりにはなっていないです。

委員

1事業者に3施設を任せるメリットとデメリットを教えてください。

委員長

なぜ今年度の募集が1事業者3施設の運営ということになったのですか。

事務局

既に導入している自治体もありますが、ある程度スケールメリット、突発で職員が休んだ時なども応援体制がとれるということを考えて3施設を1事業者にまかせるということにしました。

委員

3施設を1事業者にまかせるということ、保育内容がすべて同じになるのが想定されますが、運営はしやすいとは思いますが特色を生かしながらも子どもたちにとっては良いと思うが、なかなか難しいかなと、施設を担う事業者がそのことをくみ取って運営してもらいたいです。

委員長

大変重要なお意見をいただきました。3施設を1事業者が運営すると効率的ではありますが、画一的になってしまいます。個性を奪ってしまうことにならないか。そのことに対して対応をお願いします。

事務局

これから9月下旬に選定委員会が行われますが、現行の育成方針を引き継いでいける業者を選定したいです。また仕様書に特徴が5点あります。一つは8:00～8:30の延長料金を無料としています。二つ目は事業者を支払う人件費、おやつを費用を清算する項目としています。三つ目は第三者評価を新たに導入し、質の確保を図りたいです。四つ目は指導員に対する国の処遇改善制度の活用を積極的に行っていきたいです。五つ目は事業者には清瀬市内に事業所を設置することを条件としています。

委員

公設民営になると柔軟な対応ができます。

保護者に説明がないということ、当該施設の保護者ではないですが、詳しい説明がないまま業務委託ではなく、なぜ指定管理者制度を導入したのですか。

事務局

3月議会で条例を改正させていただいて、対象施設には6月に通知を出しています。保護者説明会は7月・8月に実施を予定しています。事業者決定後に事業者と11月に再度の説明会を予定しています。

指定管理を選んだ理由については、施設の運営管理の効率化を図るために選択をさせていただきました。

契約は5年間です。駅前乳児の契約も5年間ですがプロポーザルを行わずに契約更新を行っています。

第三者評価の結果を参考にして契約更新を行っている。学童クラブも費用をかけて第三者評価を導入して行っていきたいです。

委員長

現段階では、事務局の説明に対しての事実確認ということで、委員の皆さんの意見集約は議題を改めて行いたいと思います。

委員

指定管理を行うための準備期間が短い、今回急いだ理由は何ですか。

事務局

応募期間につきましては、市として他の自治体の導入スケジュールで行っています。これまで学童クラブ自体を運営している会社にとっては可能な期間だとは思いますが

が、新たに参入する事業者にとってはなかなか難しかったかなと思っております。

委員

来年から指定管理者になり、役所との関わりはありますか。

事務局

今行っている事務連絡会を完全に移行した令和5年4月からも継続して行きたいと考えています。

委員

市が選定委員を選ぶということですが、そのメンバーに保護者や市保連は入りますか。

事務局

現在のところ市で選定させていただこうと考えております。公募も自治体によって取り入れているところもありますが、公正公平な観点から市で選ばせていただきます。

委員

市が決めるのではなく、保護者の声も聞いて決めるべきなのではないですか。

事務局

市民や保護者、市議会の意見も聞きながら要望を仕様書に盛り込ませていただきました。

委員長

新たに清瀬市立学童クラブの指定管理者制度導入に反対する決議案を委員長権限で提出させていただきます。

主旨ですが、説明プロセスが十分では無いのではないかと。子ども・子育て会議として十分議論していないのではないかと。子ども・子育て事業計画に反映されていない。指定管理者が計画に入っていない。議論していない計画を委員長の判断として承認できない。

指定管理者制度を導入すること自体に異論はないけれども、通常であれば準備期間を1年かけて、地域参入者が応募できるように検討期間を十分とるべきなのに、議案が議会にかけられた。

計画に疑義がある状態で委員長として許容できない。

現時点では反対せざるを得ない。そういうことで決議案を提出している。

私の提出した議案に対してどのように考えますか。質問をいただいた後に決をとりたい。

決を踏まえ、臨時の子ども・子育て会議を開く必要がある。

委員

指定管理者制度に対するバツということですか。

委員長

議会で既にマルをつけているので、子ども・子育て会議としてこういうプロセスで指定管理者制度が導入されたことに対して追認するのかどうかです。

会議の枠内で委員の皆様がどのような意思を表明されるかです。

委員

委員長ではなく、市に質問してもよいですか。

保護者の心配もよくわかります。保護者への説明など市として準備期間は十分とれますか。

委員長

この期間では十分でないという私の意見なのですが、このような意見に対して事務局からご説明があればお願いします。

事務局

移行するスケジュールですが、順次引継ぎを行っていきます。

職員には1月から3月の間に実際に子どもとの顔合わせ、保育を体験できるように対応します。

委員長

職員の方に練習期間を設定いただくということです。

委員

委員長の考えは正当なものだと考えますが、指定管理制度の導入は条例改正がされて議会で承認されたので覆すのは難しいです。

保護者と子どもと指導員が主役となり、どういいものを作っていくのか、子どもの最善の利益を子ども・子育て会議で話合えれば良いです。

委員

条例で決まっているわけだから、いかにして地域に密着したものにしていけるか、十分に考えていけると思います。

委員

11人の委員の意見を集約し、市から諮問を受けた議題をまとめなければいけないわけですね。委員長が反対の決議案を出すということは、この時間は何だったのかということですね。

委員長

今年度の計画は新計画になっています。新計画の審議は昨年度に行っているわけですが、指定管理者制度が導入されるということを前提とした審議をしていません。新計画の立案にあたって指定管理者制度の導入の審議がされていない中で、新計画に指定管理者制度が入ってしまっています。これで納得して、次回の委員会で議論するのですか。通常の議案ではなく、市で決まった議案ではないので、反対とする意思表示としかやりようがないです。

委員

委員長自身がこの問題を先に進めないのであれば、委員長を降りて、副委員長にまかせて会議の運営を進めていかないとやり方としておかしいのではないですか。

委員長

条例に基づいた委員長権限の範囲の中でやっています。責任を感じて辞任をする必要は条例上ないです。

委員

実際に職務代理者を選任するという事柄も入っていますよね。そこまでもどさないとまずいのではないですか。

委員長

会議招集自体を無効とするとなるとこの1時間半は無駄になります。

委員

指定管理者制度を導入するという事柄を、2月の子ども・子育て会議で議題としてあ

がっていたのでしょうか。

委員長

議題としてあがる以前に、私に対して議案の説明もなかったので議題としてあげた事実はないです。

事務局

子ども・子育て会議については子ども・子育て支援事業計画の策定や変更、定員拡大について意見をいただく場となっています。その他の事項につきましては市長の諮問に基づいてご意見をいただく場と考えております。

委員長からは先ほどから市長からの諮問はないと意見をいただいております。

子ども・子育て支援事業計画につきましては、学童クラブの取り扱いに関しましては人口推計に基づくニーズ量に対する定員の確保となっており、運営方針を定めているものではありません。子ども・子育て会議自体は諮問事項を市長に提言する決議をとる機関ではないことをご了解ください。

委員長

はい。

委員

すでに議会で承認をされていることに対して反対して決議をとるということにちょっと違うのではないかなと思います。

個人の意見としてこういうお気持ちをもっているということはわかりますが、ここで話すことなのか。今やっていることがより充実すれば良い。基本的な線については導入に反対するつもりはないです。

委員

保護者の方の話を聞くと、学童に望むとことで時間延長がずっとありました。指定管理者制度が導入され、時間が伸びることはすごく有利なことだと思います。

指定管理者制度の導入後にこうして欲しいなどの提言をする方が良いのではないですか。

委員長

私も直接保護者の方のご要望を聞いて保育園は7時までやっているのに、学童クラブは6時15分まで、小学校上がったほうが子育て負担が増えるという話ですが、45

分の延長要望を巧みにくみ取るのがチェーン展開をしている大企業の指定管理者です。

求人情報を見てみると無資格者、初めての方もOKなど、その人たちは危険なのではないかということを考えて、仕様書の仕組みを徹底的に検討しないとだめだということにつながっています。

委員

私は他の施設よりもよく理解していると考えています。他市の画一化した事業者が入ってくるかもしれないが、我々の意見を組み込ませてくれればと思い、参加しています。条例で決まったことなので、条例を改正してまでやるというのは非常に難しいのではないですか。

委員長

まだ委員の中で意見表明されていない委員のご意見はいかがでしょうか。

委員

他の委員の方がおっしゃっていたように、今後いかにいい学童クラブの運営を行っていくかを子ども・子育て会議で考えていくことが良いと思います。

反対する決議案を提出するということは。

委員長

反対するということではなく、もっと良いものに考えていけば良いのではないかとご意向に判断しました。

委員

私も保育園に勤めておまして、保護者の方々と話し合っていくなかで、学童クラブに通う子どもたちにとって良い方向に話し合いが進んでいけば良いなと考えております。

委員

反対を決議するということには反対です。

決議をするのではなく、会議に対してこういう話がでていてという意見聴取はしていただきかったと思います。仕様書の確認はもっとしたいです。選考委員たちが、これが出来レースであるのかを含めて真剣に考えていただきたいです。利益追求ではなく、子どものために何をどう大事に考えるか、どの事業者に最終的に決定を下すのか

の意見は出させていたいただきたいので、臨時子ども・子育て会議の招集には賛成します。

委員長

決議という内容にはそぐわないのではないかということが大半のご意見でした。吉松委員のご提案を受け止めまして、清瀬市立学童クラブの指定管理者制度についての熟議の場を求める子ども子育て会議声明を出す、ということが、皆様の意見を反映する内容かなと判断致しました。

白石委員からご提案あったように臨時の子ども・子育て会議を設定して、その場において仕様書に関する詳細説明及び選定委員会の人選についての子ども・子育て会議を委員長権限で開くということが、大半の委員の意見ということで、こういうやり方しかできないので、こういうやり方で声明とするか意見表明とするかです。

事務局

もし意見があるのであれば、子ども・子育て会議としてではなくそれぞれの立場で要望をいただくのが妥当だと考えております。

市長の諮問に応じてない案件なので、会議自体に取り上げるのは妥当ではないと思います。

出来レースという意見がありましたが、そのような事実は一切ありません。

なぜそのような話がでたのか、しっかり根拠を示していただきたいです。

委員長

事務局のご意見がありましたので、今の議論は委員長声明として私がまとめますが、各委員で意見を提出する必要があると判断された場合は、各委員の判断として意見書を出すということになります。

特になければその他事項については終わりにしたいと思います。

事務局

特にございませぬ。

委員長

私の立場で声明を出しますが、臨時子ども・子育て会議の場を設定させていただき、仕様書の詳細説明、選定委員会の人選を受けての意見交換を行いたいと思います。

委員

臨時子ども・子育て会議を開くのですか。

正式な子ども・子育て会議ですか。

委員長

私が招集すれば正式なものになってしまいますが、審議の内容が市長から諮問を受けたものではない、その他だけの会議になります。

委員

市長から審問を受けた会議でなければ懇談会ですか。

委員長

懇談会になったとしても熟議が重要ではないかというご意見を受け止めました。仕様書の説明を受けた後に、子ども・子育て会議のメンバーで意見を述べる場のご提案があったと思います。

委員

仕様書の説明や選定委員会の人選よりも、学童クラブが子どもにとってどういう場であるかを大事にしたい。先生の話聞くほうが勉強になるかなと思います。

委員長

学童クラブというものはどうあるべきかという資料はお出ししたいと思います。意見が無いようでしたら、このような流れで今後の会議の運営とさせていただきたいと思います。
皆様方には長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。